

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名:石川県 土木部 都市計画課

事業の名称:都市計画道路 鳴和三日市線 街路事業

実施都市名:石川県

事業の目的

都市計画道路鳴和三日市線は、JR金沢駅前と金沢市の南北を結ぶ4車線の重要な幹線道路であるが、犀川を渡河する御影大橋は昭和26年の建設で幅員が狭く(変則3車線)、加えて隣接する元車交差点では線形が折れ点となっており、慢性的な交通渋滞箇所となっていた。さらに周辺地区は中心市街地の機能低下によりにぎわいが薄れつつあった。

このため、元車交差点の線形改良と御影大橋の架替により交通渋滞の解消を図るとともに、地域住民と連携して沿道のまちづくりと一体となった街路空間を整備し、中心市街地の活性化を目指したものである。

事業概要

事業名:都市計画道路 鳴和三日市線 街路事業

路線名:都市計画道路 鳴和三日市線

事業箇所:金沢市 長土堀2丁目～御影町 地内

事業延長:480m

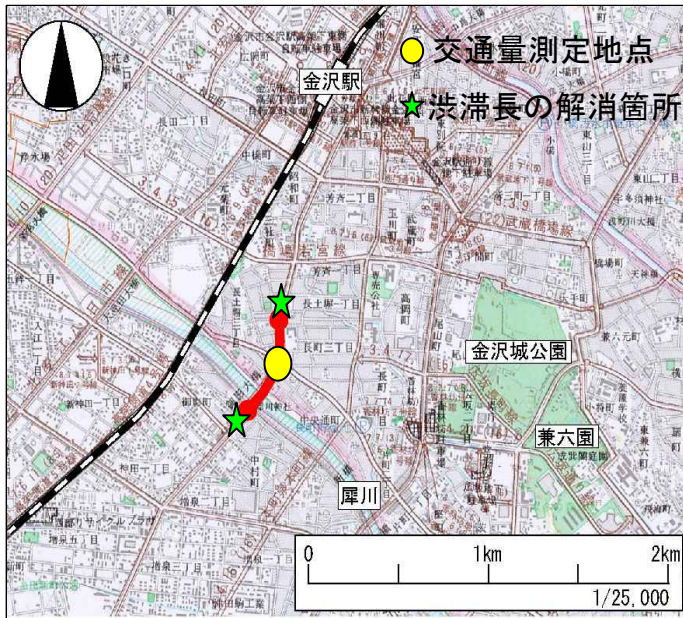
幅員:22～24.5m(4車線)

事業期間:平成8年～平成18年

総事業費:約79億円

本事業は、犀川を渡河する御影大橋108mを含む、延長480mの街路を整備したものある。御影大橋には、地域のシンボルとなるように「単弦ローゼ桁橋」を採用し、歩道には無散水消雪を設置して冬期の歩行者の快適性と安全性を確保するとともに、自然石による歩道舗装、デザイン照明灯の設置、沿道緑化や電線類地中化を行い、まちづくりに調和し緑豊かで、かつ、バリアフリーにも配慮した街路整備を行った。さらに地元では「浪漫の風ふく街づくり」をテーマとして、建築高さや色彩などを定めたまちづくり協定を締結し、美しい街並みが形成されている。

鳴和三日市線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:都市計画道路 鳴和三日市線
街路事業

路線名:都市計画道路 鳴和三日市線
事業箇所:金沢市 長土堀2丁目
～御影町地内

事業延長:480m

幅員:22～24.5m(4車線)

事業期間:H8～H18年度

総事業費:約79億円

○交通量調査結果

供用前(平成 9年) 渋滞長:950m

通過時間:12分

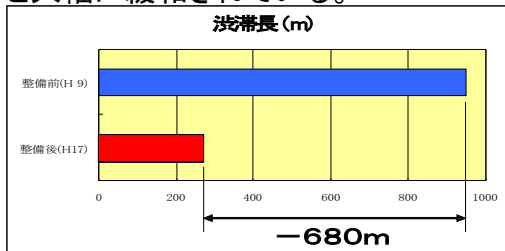
供用後(平成17年) 渋滞長:270m

通過時間:3分

「整備効果」

○交通渋滞の解消

ボトルネックの改良により、渋滞が1/4と大幅に緩和されている。



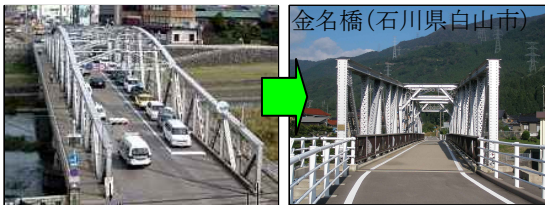
○歩道に無散水消雪装置を設置

冬の歩行者の快適性と安全性を確保。



○旧橋の再利用

旧橋を別の橋梁に再利用し、約135tの鋼材をリサイクルした。

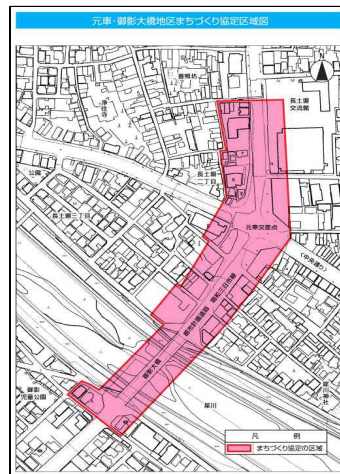


○シンボルとなる単弦ローゼ析橋を採用



○まちづくりと一体となった街路空間の整備

地域住民はまちづくり協定を締結し、このまちづくりと一体となった街路空間を整備した。



事業前写真

平成8年10月撮影（犀川下流より旧御影大橋を望む）



平成8年9月撮影（旧御影大橋渋滞状況）



平成8年9月撮影（元車交差点渋滞状況）



平成13年5月撮影（元車交差点全景）



事業後写真

平成19年6月撮影（犀川下流より御影大橋を望む）



平成19年4月撮影
(シンボルとなる単弦アーチ)



平成17年8月撮影
(まちづくり協議会による橋上イベント)



平成19年9月撮影
(元車交差点全景)



平成19年9月撮影
(デザイン歩道・照明)

